

# HANDBALL

Hiroshima  
News 2017.1

2016年の最後 南国で締めた



JOCジュニア  
オリンピック杯

## 選抜男子3位

16年ぶり2度目

大分が男女V

■メンバー■			①	②	③	④	計
GK	岡向 天空	呉中央中3					
	谷本 翔希	甲田中3					
	笹村 拓斗	甲田中2					
CP◎住吉	連 篤	甲田中3	2	3	4	2	11
	松村 篤	メイプル	4	1	2	0	7
		通津中3					
	中村 権一	メイプル	0	0	0	3	3
		岩国中3					
	井手虎太郎	メイプル	3	3	1	3	10
		古田中3					
	大田 義也	甲田中2	2	1	0	2	5
	原田 晋平	甲田中2	0	0	0	0	0
	光山 智尋	片山中3	0	0	0	0	0
	有松 治人	呉中央中3	2	4	7	0	13
	河野 想大	メイプル	4	1	2	5	12
		戸坂中3					
	森野 亮	片山中3	0	0	0	0	0
	小先 勇輝	甲田中2	1	2	5	4	3 24
	首藤 岳飛	甲田中2	4	2	3	1	10
	前川 大樹	甲田中2	0	1	0	0	1
	計		33	21	23	19	

◎は主将、○数字は試合順 数字は得点

### ■男子県選抜 成績■

▽予選リーグ  
 ○33 (13-15, 20-8) 23 岐阜県選抜  
 ○21 (11-9, 10-9) 18 北海道選抜  
 \*順位 ①2勝  
 ▽準々決勝  
 ○23 (13-8, 10-14) 22 富山県選抜  
 ▽準決勝  
 ●19 (11-13, 8-10) 23 大分県選抜

第25回JOCジュニアオリンピックカップ  
 2016は12月24日から4日間、沖縄県浦添市民体育館などで開かれ、3年連続5度目出場の男子県選抜は、準決勝で優勝した大分県選抜に敗れたが、2000年の第9回大会いらい16年ぶり2度目の3位となった。

予選リーグB組を2戦2勝で決勝トーナメントに進出。準々決勝では富山県選抜に追い上げられたが、1点差でかわして4強を確保。決勝に望みをつないで準決勝に進んだ。しかし、大分に優勢な試合展開を強いられ、後半12分に1点差に詰め寄ったが、GKの攻守に阻まれるなど、流れを変えることが出来ず、くしくも前回3位となった時と同じスコアで涙をのんだ。

優勝は男女とも大分県選抜で、初めて。男子は4年ぶり2度目、女子は12年ぶり3度目。

### こちらも奮闘

#### 高校選抜県予選

## 山陽、2大会連続のアベック優勝

#### ■高校選抜大会県予選 女子成績■

▽1回戦  
 賀 茂 23 (13-12, 10-9) 21 向 原  
 ▽準決勝  
 山 陽 40 (21-0, 18-2) 2 賀 茂  
 桜が丘 26 (11-4, 15-4) 8 祇園北  
 ▽3位決定戦  
 祇園北 19 (10-8, 9-8) 16 賀 茂  
 ▽決勝  
 山 陽 12 (6-6, 6-5) 11 桜が丘

第40回全国高校選抜大会と第22回中国高校新人大会の県予選は12月24、25日に呉オークアリーナで開かれ、山陽が新人大会に続き男女優勝を飾った。男子は初優勝、女子は4年連続4度目の優勝。

今年4度目の対決となった女子決勝は、山陽が1点差で逃げ切り、4つ目のタイトルをつかんだ。

男女とも1、2位が選抜中国予選、3、4位が中国新人大会に出場。

#### ■高校選抜大会県予選 男子成績■

▽1回戦  
 山 陽 24 (12-3, 12-9) 12 西条農  
 呉 工 16 (7-5, 9-8) 13 賀 茂  
 三津田 32 (14-7, 18-5) 12 桜が丘  
 広 29 (12-4, 17-15) 19 宮島工  
 修 道 35 (21-5, 14-3) 8 城北  
 祇園北 14 (4-3, 10-7) 10 呉 港  
 廿日市 21 (9-6, 12-3) 9 如水館  
 向 原 43 (22-3, 21-3) 6 呉高専  
 ▽準々決勝  
 山 陽 23 (15-3, 8-3) 6 呉 工  
 三津田 27 (11-9, 16-10) 19 広  
 修 道 17 (9-6, 8-8) 14 祇園北  
 向 原 30 (18-7, 12-11) 18 廿日市  
 ▽準決勝  
 山 陽 19 (14-3, 5-8) 11 三津田  
 修 道 29 (9-14, 12-7) 2-2, 2-2, 7MTC 4-3) 28 修 道  
 ▽3位決定戦  
 向 原 20 (12-8, 8-9) 17 三津田  
 ▽決勝  
 山 陽 23 (12-7, 11-9) 16 修 道



女子決勝  
 桜が丘、1点に泣く



# 湧永・メイプル 8強

大同・大体大に競り負け

第68回日本選手権は12月20日から6日間、東京都のエスフォルトアリーナ八王子と駒沢体育館で開かれ、男子の湧永製菓、女子の広島メイプルレッズはともに準々決勝で敗れた。  
湧永は一進一退が続ぎ、後半残り5分、谷村のゴールでリードしたが、直後から3連続失点で逆転された。メイプルは後半一時リードしたが流れに乗れず、インカレ女王の大体大に屈した。  
大崎電気、オムロンがともに延長を制し、2年ぶりの優勝。

優勝は大崎・オムロン

## 日本選手権

【湧永製菓】  
▽3回戦  
○35(15-12、20-11)23大 同 大  
▽準々決勝  
●21(10-10、11-12)22大同特殊鋼  
【メイプルレッズ】  
▽2回戦  
○37(14-9、23-11)20名経大市邨高  
▽準々決勝  
●20(11-14、9-9)23大体大

## 男子世界選手権 志水・成田が選出



## 李美京 加入会見

メイプル優勝に貢献します



メイプルレッズに加入した李美京(イ・ビギョン)が日本選手権前にした12月19日、会見を開き「タイトル獲得に貢献したい」と力強く話した。  
ロンドンオリンピック韓国代表の李はソウル市庁、大邱市庁で韓国リーグを戦い、今シーズンは121得点を挙げ、ランク2位の実績を持つ。  
金明恵監督は「手首の強さを生かしたスナップシュートやフェイントに優れている。チームの得点カアップにつながる」と期待を寄せる。  
また、主将でエースの高山は「ディフェンスから攻撃に移るスピードが速い。速攻での得点がアップする」と話した。  
日本リーグには再開する1月7日から出場できる。

男子世界選手権は11日からフランスで24カ国が参加して行われる。  
カルロス・オルテガ監督が最後の指揮となる日本は、地元フランスのほか、ポーランド、ロシア、ブラジル、ノルウエーと同じ予選リーグA組に組み込まれた。4グループ各組4位までが決勝トーナメントに進出する。  
日本代表19人はスペインで直前合宿のあとフランス入りする。  
湧永製菓からは昨年7月のヒロシマ国際から代表復帰したベテランGK志水孝行、ドイツ帰りで守備の要として貴重な存在の成田幸平が選ばれた。まずは16強入りへ活躍を期待したい。

## 中国一般選手権 成績

【男子】  
▽1回戦  
徳山クラブ26(15-7、11-10)17呉HC・R  
総社クラブ24(11-3、13-8)11HC江津  
▽準々決勝  
徳山クラブ32(17-10、15-15)25セキュリティ  
弓ヶ浜クラブ21(9-12、12-6)18下松クラブ  
広経大32(17-12、15-13)25jeans club  
SFIDA山口38(18-11、20-12)23総社クラブ  
▽準決勝  
徳山クラブ23(12-7、11-12)19弓ヶ浜クラブ  
SFIDA山口29(14-9、15-14)23広経大  
▽決勝  
SFIDA山口32(15-7、17-12)19徳山クラブ  
【女子】  
▽1回戦  
ORANGE BIRD36(15-4、21-3)70st-bitte  
徳山クラブ22(8-8、14-8)16広経大  
▽決勝  
徳山クラブ27(11-8、16-6)14ORANGE BIRD

## 日本選手権中国予選

【男子】=出場2チーム  
▽決勝  
HC岡山34(16-9、18-11)20日新製鋼  
(注)女子はHC岡山1チームのため出場権

## JHL まず女子が7日に再開 メイプルに追い風 6試合が地元

日本選手権や男子の世界選手権などのため中断した日本リーグは、女子が新春7日に再開する。  
メイプルレッズは9試合を終え、三重と並び5勝4敗、対戦間得失点差により4位で折り返した。  
プレーオフ進出をめぐり再開後も三重、ソニーと激しい競り合いが展開されそう。そうした状況の中で追い風になりそうなのが、残りの日程。9試合のうち3試合のアウエー後は、6試合すべて地元での戦い。コンディションの有利さに加え、元韓国代表、李美京がブレイク中に加入、得点カアップに期待がかかる。日本選手権でデビューした李は、2試合で最多の14得点を挙げた。4強入りへ気迫のこもった戦いが楽しみだ。  
男子は2月11日に再開する。

男子は来月11日から熱戦

### 《メイプルレッズ地元日程》

1.	28	vs三 重	14:00	東区
2.	4	ソニーvs三 重	13:00	中区
		Vsオムロン	15:00	中区
	11	VsHC名古屋	14:00	中区
	18	vsソ ニー	14:00	東区
	25	名古屋vs北國銀行	13:00	東区
		Vs飛 騨 高 山	15:00	東区
	26	ソニーvs名古屋	13:00	東区
		Vs北 國 銀 行	15:00	東区

## 功労賞に

### 小田 玄氏

県体協体育賞の表彰式が12月3日に広島市内のホテルで行われ、県協会からは1個人、2団体が表彰を受けた。  
功績をたたえる功労者の部は小田玄・県協会理事(修道中高校)が受賞した。  
全国大会で優勝した団体の部では、春の全国中学生選手権でミラクルの連続で初優勝した安芸高田市立甲田中男子が表彰を受けた。  
国体で優勝や入賞した個人・団体を称える部では、成年女子で3位に入った県選抜(広島メイプルレッズ主体)が受賞した。  
今回の受賞を励みに、これからもハンドボール界での活躍はもとより、発展・振興・普及に貢献してもらいたい。

## 県体協表彰

## 甲田中男子、メイプルレッズに体育賞